

2021.4 – 2021.9

コースフロー / コースカリキュラム

IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、
BA（Business Analysis）に関する
知識や手法が修得できます。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>
日立アカデミーWebサイト

※本ガイドは2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。

※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。

※オンライン研修または集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

● 経営戦略／IT戦略の立案・強化をお考えの方

<ITコーディネータ関連コース>

CTD010 レクチャ **PDU**

(PDU) IT経営ストラテジ
(経営戦略コース)

集合 2日間

CTD011 レクチャ **PDU**

(PDU) IT経営ストラテジ
(IT戦略コース)

集合 2日間

休講 **CTD007** レクチャ **PDU**

ITC資格試験対策

集合 1日間

Renewal **CTV070** グループ演習 **PDU**

(PDU) 1日でわかる
今、必要な戦略的IT投資のポイント
-変革の時代に生き残るために-

オンライン 1日間

● 内部統制の向上・強化をお考えの方

HSV062 グループ演習

事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
-高信頼性システム実現のために-

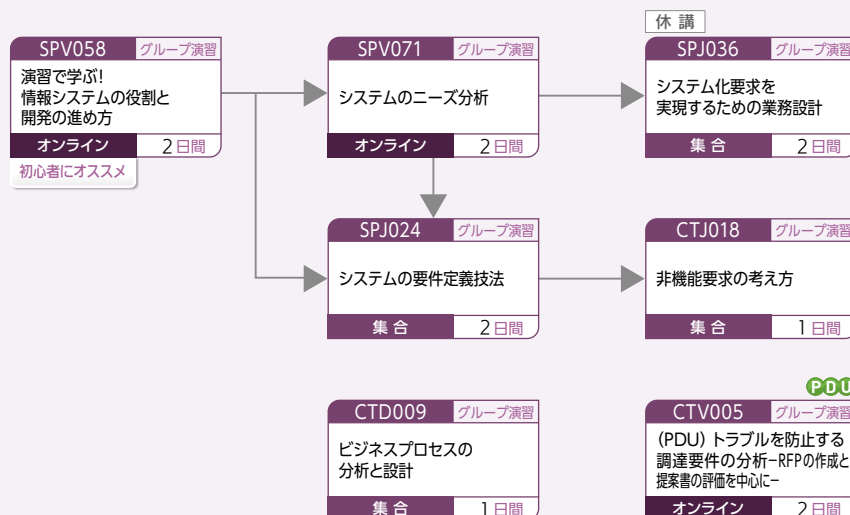
オンライン 1日間

HSV018 グループ演習

システムトラブルの
予防と是正
-ISMS・システム監査の視点から-

オンライン 2日間

● システム企画／要件定義に携わる方



音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

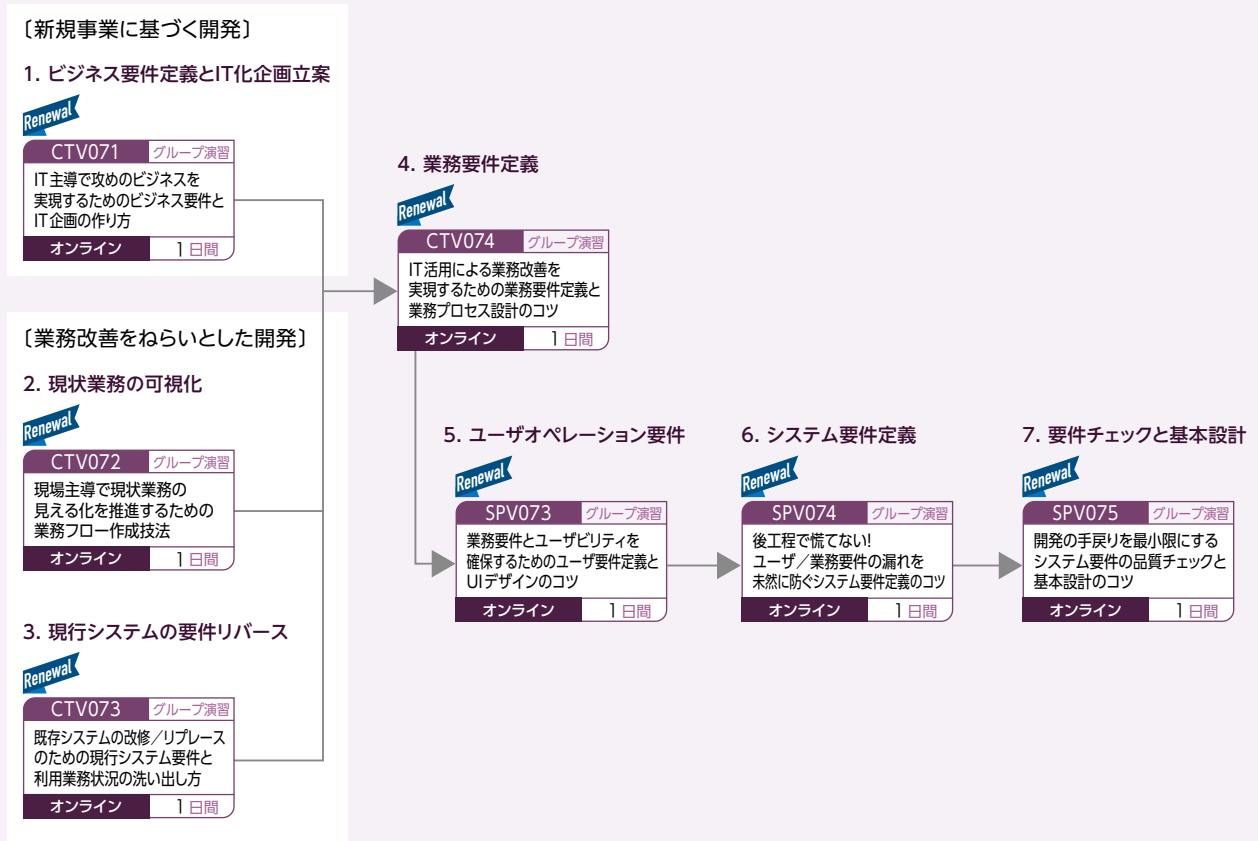
音声有;説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし;説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● システム企画／要件定義に携わる方（特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け）



● ビジネスアナリシスに取り組み始める方、関心をお持ちの方

PDU

CTV068 グループ演習

(PDU)
BABOK®で学ぶ
ビジネスアナリシスの基礎

オンライン 2日間

休講

PDU

CTD013 グループ演習

(PDU)
エンタープライズ・
ビジネスアナリシス

集合 2日間

PDU

CDV008 レクチャ

(PDU)
CBAP® 試験対策コース

オンライン 3日間

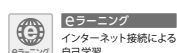
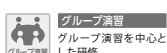
音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



● 情報システム部門でベンダー・マネジメントに携わる方

CTJ046 グループ演習

情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント

集合 1日間

CTJ026 グループ演習

情報システムの利用テストと移行・切替・本番稼働の準備実務

集合 1日間

CTV005 **PDU** グループ演習

(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析-RFPの作成と提案書の評価を中心に

オンライン 2日間

休講

CTJ022 グループ演習

情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント

集合 2日間

● 保守開発に携わる方

SPV033 グループ演習

保守開発におけるトラブル対策の考え方

オンライン 1日間

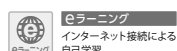
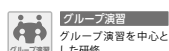
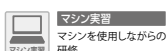
音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



CTV070 IT戦略・IS企画

グループ演習

1日間

(PDU)1日でわかる今、必要な戦略的IT投資のポイント-変革の時代に生き残るために-
【バーチャル・クラスルーム】 **PDU**

Renewal

関与者とコミュニケーションを取りながらビジネス変革の成功シナリオを共有し、戦略的IT投資でそれを実現するための具体的な手法を修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 戦略的IT投資案件の企画および提案の具体的な進め方が説明できる。
・限られた予算を有効活用するIT投資マネジメントの考え方が説明できる。

対象者 IT投資案件を提案する方、セールスエンジニアの方、ビジネスアナリストの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容

1. 今なぜ戦略的IT投資なのか
(1)IT投資を取り巻く環境
(2)最新ITトレンド情報
2. IT投資のアイデアを発掘する
(1)ラン・ザ・ビジネスの効率化
(2)バリューアップの創出
3. ビジネス戦略にIT投資を連動させる
(1)バランススコアカードの考え方
(2)ITソリューションへの応用
(3)ITイノベーションへの展開
4. 経営者に投資対効果を説明する
(1)見積金額の妥当性
(2)投資効果の算出方法

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTV005 IT戦略・IS企画

グループ演習

2日間

(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析-RFPの作成と提案書の評価を中心に-
【バーチャル・クラスルーム】 **PDU**

情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。システム要件を的確に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。
・信頼性の高いIT契約を締結できる。

対象者 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容

1. IT調達がかかる課題と調達要件分析の重要性
2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン
3. 要件を的確に伝えるRFP(提案依頼書)
(1)演習: 新システム導入に関するRFP検討
4. 合理的な提案書評価
(1)演習: ベンダからの提案書評価
5. 信頼性を向上させるIT契約書

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

SPV033 IT戦略・IS企画

グループ演習

1日間

保守開発におけるトラブル対策の考え方
【バーチャル・クラスルーム】

既存システムの修正や改良といった「保守開発」におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイントを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができます。

到達目標 ・保守開発の現状と課題が説明できる。
・保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。
・保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析と対策立案を実践できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容

1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか
(1)保守開発の現状
(2)保守開発プロセスが抱える課題
2. 保守開発マネジメント概論
(1)保守開発に関するガイドライン
(2)トラブル防止に向けた取り組み
3. 保守開発プロセスの改革提言
(1)保守開発段階での品質管理とは
(2)保守開発計画と工数見積りのレベルアップ
(3)開発環境とテスト環境の強化ポイント
4. 保守開発トラブルのマネジメント
(1)トラブル関連情報の収集と傾向分析
(2)ヒューマンファクタ分析の応用
演習: 保守開発におけるトラブルの事例研究
5. まとめ
講師: 前橋システムコンサルティング株式会社代表取締役
前橋雅夫氏(公認システム監査人)

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

CTD010 IT戦略・IS企画

レクチャ

2日間

(PDU)IT経営ストラテジ(経営戦略コース) PDU

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3.1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。
※IT戦略、IT活用プロセスについては、別コースの「IT経営ストラテジ(IT戦略コース)」で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:16ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。
・経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。

対象者 ・IT提案に経営者視点を加味したい方。
・IT戦略の前工程を学びたい方。
・経営企画業務に携わる方。
・経営改革または業務改革を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解
2. 変革認識プロセスの理解
3. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備考 ・このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社で開催します。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTD011 IT戦略・IS企画

レクチャ

2日間

(PDU)IT経営ストラテジ(IT戦略コース) PDU

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、IT経営実領域の「IT戦略プロセス」および「IT活用プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実領域のITサービスやIT活用のための戦略を立て、実行を評価する「IT戦略プロセス」と、具体的なIT活用実現に向けた活動である「IT活用プロセス」の重要性を理解します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3.1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。
※経営戦略の策定・実行・評価を行う経営戦略プロセスについては、別コースの「IT経営ストラテジ(経営戦略コース)」で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:16ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT化が経営戦略に基づくものであることを理解できる。
・ITユーザー企業視点に基づいたIT戦略およびIT利活用に関するポイントを理解できる。

対象者 ・IT提案にユーザー企業視点を加味したい方。
・IT導入・利活用の前工程を学びたい方。
・IT企画業務に携わる方。
・ITユーザー企業へIT戦略を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解
2. 経営戦略プロセスの理解(一部、業務改革プロセスを含む)
3. IT戦略プロセスの理解
4. IT利活用プロセスの理解
5. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備考 ・このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社で開催します。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTD007 IT戦略・IS企画

レクチャ

1日間

ITC資格試験対策 PDU

休講

このコースはITC資格試験に合格するための対策コースで、「出題される箇所」「出題される理由」「具体的な対策方法」を中心に、いかにITCプロセスを要領良く理解し、いかに効率的に対策すれば良いかを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:8ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ITC試験合格に必要なプロセスガイドラインを本質的に理解し説明できる。

対象者 ITC試験を受験予定の方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. ITC試験の傾向と対策
2. IT経営プロセス全体概要
3. IT経営認識プロセス
4. IT経営共通プロセス
5. 上流(経営戦略・IT戦略)
6. 下流(IT調達・IT導入・ITサービス活用)

備考 ・このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社で開催します。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。
・解説・演習問題確認を繰り返してわかりやすく学習します。
・このコースは、2011年に発行されました「ITCプロセスガイドラインVer.2.0(2011年8月31日発行)版」に対応しています。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※このコースは、休講とさせていただきます。

CTV068 IT戦略・IS企画

**(PDU) BABOK®で学ぶ
ビジネスアナリシスの基礎**
【バーチャル・クラスルーム】 **PDU**

2日間

ビジネスニーズを特定し、ビジネスソリューションを決定するために必要なビジネスアナリシスおよびビジネスアナリストの役割について学習します。補助教材としてBABOK®を配布いたします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ビジネスアナリシスという専門職務と、その標準的なタスクやテクニックを説明できる。

対象者 ビジネスアナリシスを理解し、業務へ適用したい方。

前提知識 情報システム開発プロセスに関する概略的な知識があること。

内容

1. ITプロジェクトの課題とBAの必要性
2. BABOK®の概要
3. 各知識エリアの解説
4. BAの専門知識
5. BABOK®活用の勘所
6. PMBOK®ガイドとのつながり
7. BAの資格認定制度

備考

- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTD013 IT戦略・IS企画

**(PDU)
エンタープライズ・ビジネスアナリシス**
PDU 休講

2日間

このコースでは、どのようにして企業規模での複雑性や変革にビジネスアナリシスを適用するのかを学習します。具体的には、エンタープライズ分析とは- という基本から始めたいえ、ディスカッションを通して、それがどのように投資戦略や変革対応に役立つのか、さまざまなビジネス・アーキテクチャとエンタープライズ・アーキテクチャの関係について理解します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 15ポイント)の取得が可能です。

到達目標 企業におけるビジネスアナリシスを説明できる。

- ・企業の構成要素をモデル化し、それらがどのように働くかを説明できる。
- ・戦略を形成するために必要となる顧客価値を特定することができる。
- ・エンタープライズ分析を通して、どのように組織の人と資産の有効性を強化することができるのかを説明できる。

対象者 ビジネスアナリシスの分野に関心のある方。

前提知識 ビジネスアナリシスに関する基本的な知識、一般的な戦略論に関する知識があること。

内容

1. エンタープライズ・ビジネスアナリシス
2. ビジネスアーキテクチャ
3. 価値マッピング
4. ビジネスモデルからビジネス・ブループリントへ
5. ビジネスプロセス管理
6. 組織マップ
7. エンタープライズ・アーキテクチャの作成
8. ケイパビリティ・マップ
9. エンタープライズ・プロセス・ソリューション
10. 組織学習

備考

- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※このコースは、休講とさせていただきます。

CDV008 IT戦略・IS企画

(PDU) CBAP®試験対策コース
【PLIライブ配信】 **PDU**

3日間

CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA(International Institute of Business Analysis)が認定する資格で唯一日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 24ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。

- ・現状知識の強いエリア・弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。
- ・CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる。

対象者 CBAP®資格取得をめざす方。

前提知識 BABOK®の基礎知識を修得していること。

内容

1. 試験概要/受験申請手続き
2. 基本概念
3. 計画と監視
4. 引き出しとコラボレーション
5. 戦略アナリシス
6. 要求分析とデザイン定義
7. ソリューション評価
8. 基礎コンピテンシー
9. 要求ライフサイクル管理
10. パースペクティブ
11. 150問模擬試験/解答解説

備考 【持参品】

事前に「BABOK®ビジネスアナリシス知識体系ガイドV3」をご購入のうえ、当日ご持参ください。

- ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTJ046 IT戦略・IS企画

**情報システム導入を成功させる
要件定義とベンダー折衝の実践ポイント**

1日間

要件定義とベンダー折衝を通して、情報システム導入を成功に導く方法論を解説します。特にパッケージ・システム導入を事例として、各種のチェックリストや問題解決技法のテンプレートを使用して具体的な進め方を修得します。

到達目標 ・要件定義作業の進め方、ベンダ提示資料の検討の方法について説明できる。

- ・社内手続き、業務改善・管理基準・ルールの改定と整理ができる。
- ・要件定義作業成果物の不安、未了および不確定の扱いについて検討できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システム導入に携わる方。

前提知識 ・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

1. 要件定義とは
2. 作業充実の要点とリスク回避
3. 要件定義作業とユーザ対応
4. 検討作業と整理技法
5. 要件定義の事例
6. ユーザ資料の作成要領
7. まとめ

備考

- ・このコースは、機能要件の明確化と委託先との交渉に関する実務を中心に扱っており、クラウドサービスの非機能要件については扱っておりません。
- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CTJ026 IT戦略・IS企画

**情報システムのユーザテストと
移行・切替・本番稼働の準備実務**

1日間

情報システム部門が情報システム導入時に安定稼働を保证する条件は、「新規システムの品質確保」と「移行処理・切替作業の確実な実施」および「社内準備のミスのない実行」にあります。このコースでは、情報システム導入時に情報システム部門が社内に対して行う安定稼働を保证するための作業である、ユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備の実務について学習します。

到達目標 ・システムの品質保証、問題の管理と解決、移行処理、切替作業の概要を説明できる。

- ・社内外への必要情報の提示、教育研修とマニュアルが作成できる。
- ・業務改善、管理基準の変更および運用に関するドキュメントが作成できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システムのユーザテスト・移行・切替・本番稼働の準備に携わる方。

前提知識 ・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

1. 万全な準備の対象
2. ベンダテストの限界とユーザ関与
3. 品質を保证するユーザテスト
4. 「移行処理」とその対応策
5. 切替作業の方法と成功要因
6. 安定稼働のための社内準備
7. まとめ

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

CTJ022 IT戦略・IS企画

**情報システム部門のための
開発工程におけるベンダー・マネジメント**
休講

2日間

外部委託先がシステム開発プロジェクトに参画した段階からの、開発工程におけるベンダー・マネジメントの基礎知識を学習します。プロジェクトのリスクとトラブルを予防し、問題やその兆候を早期に発見し、委託先と協調しながら、現実的かつ確実に課題の解決を図るための方策を修得します。

到達目標 ・システム開発プロジェクトのベンダー・マネジメントにおける進捗管理・品質管理・リスク管理・変更管理・コスト管理の特性を説明できる。

- ・現状把握、進捗管理、問題解決に向けた有効な質問と聞き取りができる。
- ・自身の責任範囲を理解したうえで自社内への問題解決行動の候補を案出できる(折衝/上位者からの交渉/エスカレーション等とすべき行動の判断)。
- ・委託先との協調、連携作業を意識した自発的コミュニケーションができる。

対象者 企業内の情報システム部門で外部委託先(ベンダー)と連携してシステム開発に携わる方。

前提知識 ・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

1. イントロダクション
2. 要求とは何か
3. 契約と委託内容
4. コミュニケーションのマネジメント
5. 品質管理とリスク管理
6. 進捗管理
- (1) 現状把握
- (2) 予定と実績の差異確認
- (3) 問題への対処
7. 変更管理
8. まとめ

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

※このコースは、休講とさせていただきます。

CTV074 IT戦略・IS企画

IT活用による業務改善を実現するための
業務要件定義と業務プロセス設計のコツ
【バーチャル・クラスルーム】

1日間

現代の組織における生産性向上を実現するためにはITの活用が重要です。しかし、とすればITの本質を理解しないまま旧来の改善の延長でシステム化を推進し、ITのメリットを活かせないまま期待したほどの効果を得られないケースも散見されます。ホワイトカラー業務に特有のイベント駆動型プロセスの本質を理解して、ITの利点であるプロセス・イノベーションを実現するための手法について、書籍「ビジネスデザイン」「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標・ITと単なる自動化の違いを説明できる。

- ・業務要件とは何かを説明できる。
- ・新しい業務プロセスの作り方について説明できる。

対象者現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者(IT知識が無くても可)やシステムエンジニアの方。

前提知識5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

- 内容**
1. 生産性とゴール指向
 2. 業務要件とは何か
 3. ITがもたらすプロセス・イノベーション
 4. バックキャストिंग
 5. IT活用の肝としての情報設計
 6. 演習

備考・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法—IT化企画の基礎から実践まで—」と同等の内容を含みます。

CTV071 IT戦略・IS企画

IT主導で攻めのビジネスを実現するための
ビジネス要件とIT企画の作り方
【バーチャル・クラスルーム】

1日間

ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めれば良いのか。その最重要ポイントに絞って、書籍「ビジネスデザイン」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標・ITの真の価値について説明できる。

- ・顧客ニーズの設定手法について説明できる。
- ・ビジネスシナリオの作り方について説明できる。

対象者現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者(IT知識が無くても可)やシステムエンジニアの方。

前提知識5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

- 内容**
1. IT化と従来のシステム化の違い
 2. ビジネスと顧客
 3. 顧客ニーズと提供価値
 4. IT主導のビジネスシナリオ
 5. 演習

備考・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法—IT化企画の基礎から実践まで—」および「ビジネス視点からのITサービスマーケティングの進め方」と同等の内容を含みます。

CTV072 IT戦略・IS企画

現場主導で現状業務の見える化を
推進するための業務フロー作成技法
【バーチャル・クラスルーム】

1日間

RPAなどの現場主導によるIT化/業務改善がますます増えています。このような取り組みを推進するには現行業務の見える化が不可欠です。しかし業務の見える化は決して簡単ではなく時間もかかるため、なかなか期待通りに進まず失速するケースも多々あります。多忙な現場担当者が割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な手法を紹介します。

到達目標・業務の構造について説明できる。

- ・業務フローの作成方法について説明できる。

対象者生産性向上や働き改革などのテーマに取り組みなければならないがどこからどう進めれば良いかわからないか悩んでいる方。
現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者(IT知識が無くても可)やシステムエンジニアの方。

前提知識1年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。

- 内容**
1. どうして業務改善が難しいのか
 2. 業務の構造
 3. 見える化が難しい理由
 4. 業務フロー作成技法
 5. 見える化の罫を乗り越える
 6. 演習

備考・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成—書き方・書かせ方—」と同等の内容を含みます。

CTV073 IT戦略・IS企画

既存システムの改修/リプレースのための
現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方
【バーチャル・クラスルーム】

1日間

21世紀も四半世紀を過ぎた今、既存システムの高度化・デジタルビジネス対応は喫緊の課題です。しかし多くの取り組みで発生している問題は現状の利用実態を把握しきれず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。とすればドキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標・業務の構造について説明できる。
・業務フローの作成方法について説明できる。
・見える化の罫について説明できる。

対象者現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者(IT知識が無くても可)やシステムエンジニアの方。

前提知識3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

- 内容**
1. 「現行通り」とは何か
 2. 洗い出すべきもの
 3. システム要件と業務の関係
 4. ユーザの期待と失望
 5. 洗い出しの手順
 6. 演習

備考・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成—書き方・書かせ方—」と同等の内容を含みます。

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名 古 屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>